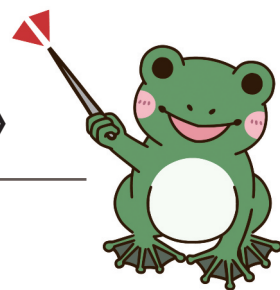


旅する長崎学講座

〈郷土資料センター・五島列島ゆかりの資料展関連講座〉



「長崎県の両生・爬虫類

～新種・ゴトウタゴガエルを中心に～」

講座内容紹介

旅する長崎学（たびなが）講座は、長崎県の歴史・文化の魅力を発信するために、東京を中心に実施してきました。新幹線の工事が本格化すると大阪でも開講して10年になります。

今年度は、西九州新幹線の開通を機に長崎から歴史文化情報を発信することとし、現在テレビ・新聞紙上で話題になっている「ゴトウタゴガエル」を中心に、長崎県の両生爬虫類の特色についても松尾公則先生（カエル先生）に語っていただきます。

ゴトウタゴガエルは五島列島の福江島、奈留島、若松島、中通島、野崎島だけに生息する新種のカエルです。学名をRana matsuoii（ラナマツオイ）といい、つまり松尾先生の名前が学名になっています。普通のタゴガエルは3月ごろに産卵するのですが、このカエルは11月ごろ産卵し、鳴き声も違います。詳しくは講座で紹介しましょう。

なお、長崎の歴史はさすが奥深い、両生爬虫類とも関係があって、具体的にはこれも講座で。

日時

令和6年

2月4日（日）13:30～15:30

参加費無料

会場

県立長崎図書館郷土資料センター

集会・研修室（長崎市立山1丁目1番51号）



ゴトウタゴガエル



ゴトウタゴガエル幼生



ヤクヤモリ



ニシヤモリと卵

講師

【生物学】松尾 公則（まつお たかのり）

○長崎女子短期大学幼児教育学科教授。福岡教育大学教育専攻科理科専修卒。「長崎県における両生・爬虫類、哺乳類の分布と生態」を研究

○著書『長崎県の両生・爬虫類』（長崎新聞社 2004年）

『長崎県の哺乳類』（長崎新聞社 2010年）

『かえる先生のいきもの交遊録』（長崎新聞社 2022年）

【歴史学】本馬 貞夫（ほんま さだお）

一定員80名 要事前申込一



スマホでの
申し込みは
こちらから



申込先 長崎県電子申請システム（右のQRコード）のほか
郷土資料センターカウンターもしくは電話（電話 095-826-5257）

お問い合わせ先

長崎県文化振興・世界遺産課 歴史文化班（電話 095-895-2762）

県立長崎図書館郷土資料センター（電話 095-826-5257）